



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第48号 2006年3月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成18年2月22日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

おかわり

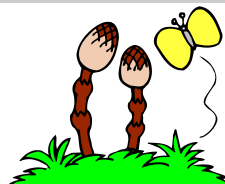
昭和33年に新築されてから現在に至るまで、お付き合いさせていただいているIさんは、26年間にわたり、追浜地区の小学校の給食を作ってこられました。昭和30～33年夏島小学校、昭和33～49年浦郷小学校、昭和49～58年追浜小学校と、その当時のハナタレ小僧たちは、Iさんをはじめとする「給食のおばさん」がこしらえた給食で大きくなりました。昭和30年代に人気のあった献立は、イワシのメンチボール、昭和40年代は鯨肉の竜田揚げ、昭和50年代はナポリタンと、食生活の変化とともに子供たちの好みも移り変わっていったようです。

昭和33年の新築当時、玄関の建具として使われたIさん宅の引き違いのガラス戸は、物置の建具として、現在も現役で活躍しています。



ノスタルジック

子供の頃の記憶がよみがえる。そんな懐かしい「昭和」がそこにはあります。



- ◆ 展示「谷内六郎の軌跡」※
そごう美術館（～2/26）
そごう横浜店6階
- ◆ 展示「日本の子ども60年」
日本新聞博物館（～3/19）
中区日本大通り
- ◆ 映画「ヨコハマメリー」（4/初～）
横浜ニューテアトル
中区伊勢佐木町
- ◆ 展示「春爛漫」（2/25～4/23）
長谷川町子美術館
世田谷区桜新町

※ 晩年は横須賀市鴨居のアトリエで作品が描かれ、横須賀市に寄贈された作品が2007年完成予定の横須賀美術館(仮称)に展示されるようです。



三寒四温

だんだんと暖かくなるにつれ、草木の新しい芽が顔を出し、春の息吹を感じられるようになりました。真冬の重いコートを脱いで、出かけませんか。
「♪もうすぐ春ですね。」

ローカル・ニュース 地元情報

「酒蔵一八」（第21号街並探訪掲載）がテレビ東京「釣りロマンを求めて」（2/11）に東京湾のショウサイフグの特集で紹介されました。平成一八年もまさに一八の年。笑う門には河豚来る。

クイズ(第47号)の答え

合掌造りで有名な飛騨高山の郷土料理の朴葉味噌は、①朴（ほう）の葉を使って野菜などをあぶります。この朴は、モクレン科の落葉高木で、「欠点のない木」と呼ばれ、加工しやすく、割れや狂いも少なく、高級な定規や製図板、寄木細工の指し物、刃物のさやなどに使われています。日本にだけ生育する貴重な樹木です。



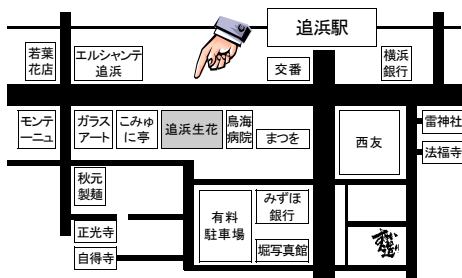
クイズ 問 呷只和

「ねばりがあり狂わない」という性質を持ち、昔から浮世絵の版木、額縁、バイオリンの弓など、さまざまな用途に使われている樹木は次のどれでしょう。

- ①桜 ②桐 ③桂 ④椿

心を込めて花束を

春先はスイートピーやチューリップ、ストックなどがオススメです。



季節や目的に合わせてお花を選ぶことができます
一期一会（3,150円税込）



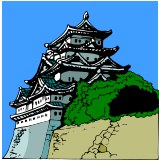
有限会社 追浜生花
横須賀市追浜町3-5
TEL 046(865)4674
FAX 046(865)4674

次号予告

「日本の春の象徴・桜」などについて取り上げる予定です。

Spring Hana Come.

春がやってきました。春に風が吹くとスギ林からスギ花粉が飛び、大気中を漂いながら、車の排気ガスなどの科学物質と化学反応を起こす。それが体内に入りアレルギー反応を起こし、体内から追い払おうとして、くしゃみや咳が出る。目がかゆくなり、鼻水がいつのまにかたたりと流れ、あわてて鼻をかむ。



豊臣秀吉の大阪城築城を契機に、大阪をはじめとする近隣の各都市が活気を帯び発展し、木材の需要が高まった元禄初期に、現在の奈良県吉野地方でスギの植林がはじまりました。この吉野スギは、青森ヒバ、木曽ヒノキとともに日本三大美木の秋田スギと肩を並べ、品質の良いスギのブランドとなりました。時は流れ、戦後の日本は、右肩上がり高度な経済成長を遂げ、未曾有の建設ラッシュとなりました。住宅ブームからくる木材の需要を考慮して、30年から60年で成長し、比較的育ちやすいスギの植林が全国各地で盛んに行われました。時は流れ、住宅に使われる木材は、国産材に代わり、東南アジアや北米などから安く入る輸入材が使われるようになり、手間隙かけて育てられた国産材が、外国産の木材に太刀打ちできず、廃業する林業関係者が多くなりました。すると、間伐もされずに伸び放題のスギ林が誕生しました。その間に、農耕民族だった日本人の穀物や野菜が中心の食生活が、欧米化することによって、動物性脂肪やたんぱく質が中心の食生活に変化しました。また、いろいろな化学的な調味料も食すようになった結果、日本人は、アレルギーが発症しやすい体質になりました。また、道路が舗装され、スギ花粉が吸収される土の地面が少なくなり、さらに、現代社会はストレスがたまることが多くなりました。

国会で花粉症が議論されるほど、国民病となりつつあります。この時期は、十分な睡眠が取れずに一日中ボーッとしているため、仕事にならず、花粉症休暇や花粉症手当を申請したい人が少なくありません。

今年は、右図のように、スギ花粉の飛散量が、昨年や平均と比較してかなり少ないと予想されていますが、花粉症対策は怠らない方が良さそうです。こんな対策はいかがでしょう。それは、国産のスギを消費し、計画的に管理されたスギ林にもどすことです。例えば、全国の小学校の校舎の床にナラ、壁にスギなどの国産材を使用し、リフォームをすることです。木の香りやぬくもり、その質感からか、生徒のケガが減り、落ち着きが出て、授業に対する集中力が増したという報告もあるようです。国産材の価値が見直されてきています。そして、もっと身近にできることは、国産のスギをふんだんに使い、皆さんが新築をすることです。弊社としても、少なからずお手伝いさせていただきますので、是非お声をおかけください。花粉症の撲滅にご協力をお願いします。

スギ花粉の飛散量

横浜 05	9,174
06	825
平均	2,797
東京 05	10,625
06	1,158
平均	3,625(個/cm)

参考 NPO花粉情報協会

ガス給湯器のメンテナンス

住宅設備機器が故障した場合、一刻も早く原状回復したいのが、トイレと給湯器です。特に寒い時期は、お風呂などの関係もあり、給湯器の故障は、快適な暮らしに支障が生じることがあります。給湯システムには、ガス式（都市ガス・プロパンガス）と電気式の2種類あります。今回は、ガス給湯器についてご説明します。

ガス給湯器の耐用年数は8年で、製品の性能を維持するために部品を保有しなければならない最低保有年数は、製造打ち切り後6~7年（但しBL認定商品は10年）です。弊社のお客様でお問い合わせいただく場合、10年前後のメンテナンスが多いようです。部品の取り寄せなどの特別な場合を除いて、ほとんどの場合、翌日遅くとも翌々日には修理が完了し、修理代金は20,000円前後となっています。但し、耐用年数を大幅に超えてメンテナンスをする場合、部品を交換して原状回復させても、それは一時的で、その後修理した部分や別の部分がいつ故障するかわからないというリスクがあります。何度も修理をするよりは、交換した方が結果的に良い場合もありますので、耐用年数を考慮して、お取り替えもご検討ください。

また、すでにIHクッキングヒーターをご使用されている場合は、エコキュートに交換して、オール電化住宅にし、電気料金の割引制度を活用するという方法もあります。（トイレのメンテナンスは第4号、住宅設備機器の耐用年数は第11号、エコキュートは第20号をそれぞれご参照ください。）



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAX、メールでもお受けします。お名前とご連絡先を忘れずにご記入ください。正解された方の中から抽選で毎月1名の方に、その号に関連したプレゼントをお送りしています。尚、郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーやカラー版を希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 宛 TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139